

地域の 拠点づくり 戦略

—概要版—



【各地域の拠点づくりのテーマ】



自分たちでつくる、
まちの景色を変える
地域のアクション



神辺	みんなでつくる神辺駅西側のまち
松永	みんなで考える松永駅北口のまち
新市	かわまち広場から人と人がつながるまち
沼隈・内海	道の駅アリストめまくと海を生かした南部地域
駅家	駅家公園から元気で暮らしやすい駅家エリアへ

地域の拠点づくりのポイント

ポイント 1 地域のことを知ろう

1

地域のことを知るために、調べたり、誰かに聞いたりしてみましょう。一人でもできること、仲間と一緒にだからこそできること、様々な形で地域と“関わりしろ”を増やしてみましょう。



新市 まち歩きイベント

ポイント 2 みんなと話そう つながろう

2

より多くの人と話し、つながることで、アイデアがどんどん広がります。まちなかでの立ち話、地域の意見交換を通じてつながりを広げていきましょう。



松永 ワークショップの様子

ポイント 3 できることから始めてみよう

3

地域との関わりの中で自分でできることを考えて、始めてみましょう。無理なく、小さなこと・できることから楽しみながら取組を進めていきましょう。



神辺 廉塾バラの地域植栽

ポイント 4 振り返りをしながら、続けていこう

4

小さく始めてみた後に、振り返ってみましょう。そして、続けていく方法を探してみましょう。うまくいかなかったら見直して、うまくいったらどんどん伸ばしていきましょう。



意見交換会や懇親会で成果や情報を共有

意見交換と取組の実践の積み重ねで、まちの景色は少しずつ変わっていくんじゃないかって思うんよ。

“みんなが住む地域”だからこそ、地域と行政が同じ思いを持って進めていくのが大事なんよ。

地域が主体で進めるから、地域によって取組の切り口や方法も違うんですね。

そこが「地域の拠点づくり」のおもしろさですね。

次のページから、6つの地域で始まっている「地域の拠点づくり」を紹介するよ。

どの地域も、まちに変化の“きざし”が見えていて、めざすまちの姿の実現に向けた取組が動き出しとるんよ。

神辺地域

～みんなでつくる神辺駅西側のまち～

神辺地域の“いま”

2019年に策定した「川南地区まちづくり新ビジョン」により神辺駅西側の社会基盤整備が動き始めました。2026年3月におおむね完成します。

また、神辺町商工会青年部が主催するイベント「かなベストリートフェスティバル」が川南1号幹線（（都）神辺駅御幸線）で開催され、（仮称）川南公園の利活用を想定した実証実験も行うなど、公共空間の整備からその利活用まで、みんなでつくるまちの取組が進んでいます。



整備中の川南1号幹線で開催されたかなベストリートフェスティバル



公園利活用の実証実験の一つ 神辺みんなの公園さんよう夜市



北部エリアのバス路線検討に向けた実証実験

（2026年10月頃予定）

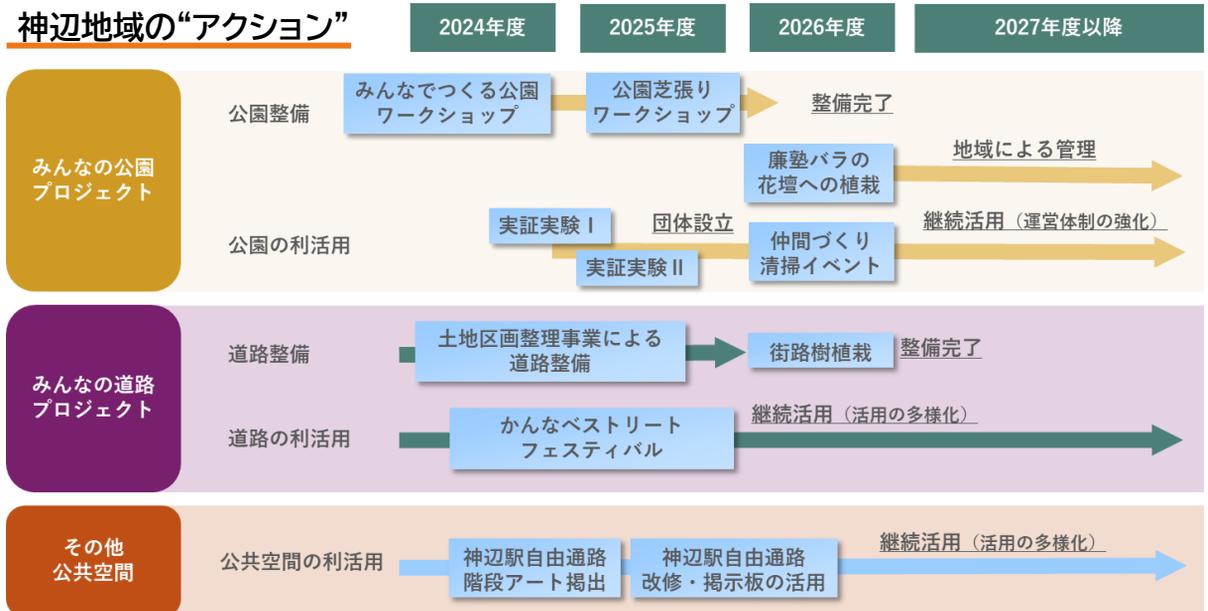
神辺駅を基点とし、北部エリアの大型商業施設や医療機関、福山北産業団地等を結ぶ新たなバス路線を検討中！

神辺駅西口広場完成イメージ

神辺駅

（仮称）川南公園完成イメージ

神辺地域の“アクション”



Pick UP

任意団体「まちのたねかなべ」設立

実証実験や芝張りワークショップを行いながらみんなでつくってきた（仮称）川南公園。その取組の中で、地域の有志がまちづくりの活動を行う団体「まちのたねかなべ」を設立しました。今後は公園を中心に、日常の延長で参加できるようなイベントを育てていく予定です。



代表の藤井さん

「みんなで彩る」道路

2026年3月におおむね完成する川南1号幹線（（都）神辺駅御幸線）の植樹帯にはまだ何も植えられていません。この道路は新しいまちの真ん中を通り、その植栽は、まちの景観を印象付けます。まちのイメージに合う植栽を、みんなで一緒に考えていきます。



松永地域

～みんなで考える松永駅北口のまち～

松永地域の“いま”

松永駅北口で行われていた夜店の約30年ぶりの復活開催や3年連続のハロウィンイベントなど季節に応じたイベントが行われたり、地域の有志によって老朽化したアーケードの撤去が始まったり、少しずつまちの変化が始まっています。

こうした「非日常」のにぎわいを、「日常」でのにぎわいにつなげるにはどうしたら良いのか。通勤・通学で多くの人を通り過ぎる松永駅北口のめざす姿をみんなで考える取組が進み始めています。



イベント時の松永駅北口

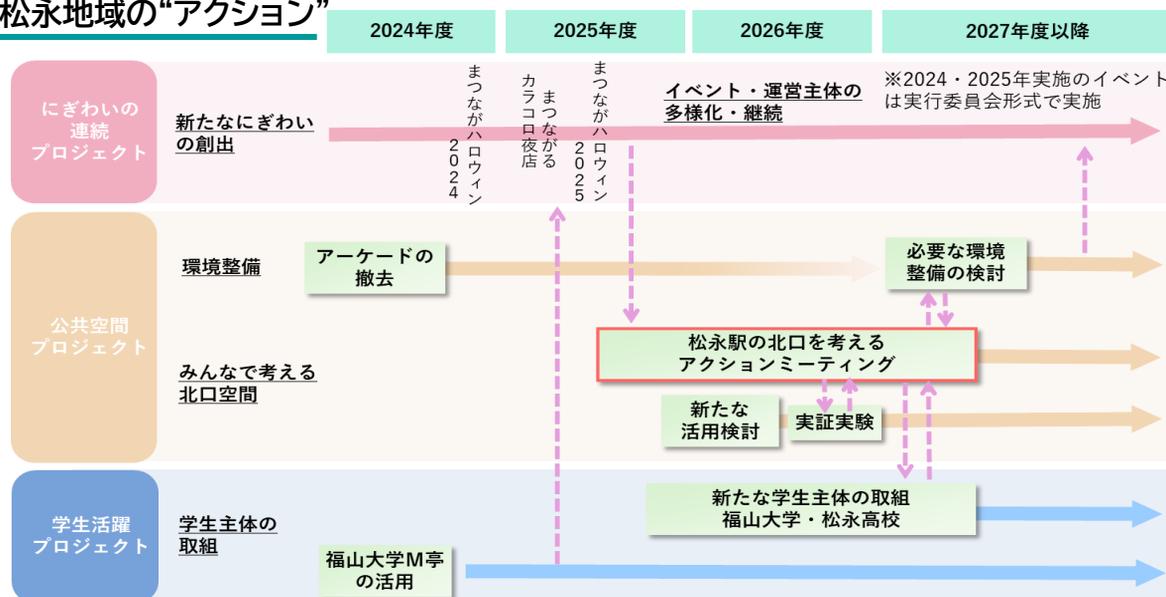


平日昼間の松永駅北口



松永駅

松永地域の“アクション”



Pick up

みんなが当事者として「考える」まち

松永駅北口の日常のにぎわいを考えるうえで、沿道を含めた空間活用などの視点も必要です。議論を重ね実証実験を行いながら、みんなが当事者として「考えて」、居心地の良いまちをつくっていきます。



松永駅の北口を考えるワークショップ

カープche-deまつなが「おむすび」大作戦

松永未来会議で出された「生徒の昼食を買う場所がない」「昼食になるメニューを開発できないか」という声をきっかけに、地元の高校・大学・スーパー等・行政がつながり、松永ならではのメニュー開発を行っています。2025年度はおむすびを商品化し、完売しました。



商品化したおむすびと販売の様子

新市地域

～かわまち広場から人と人がつながるまち～

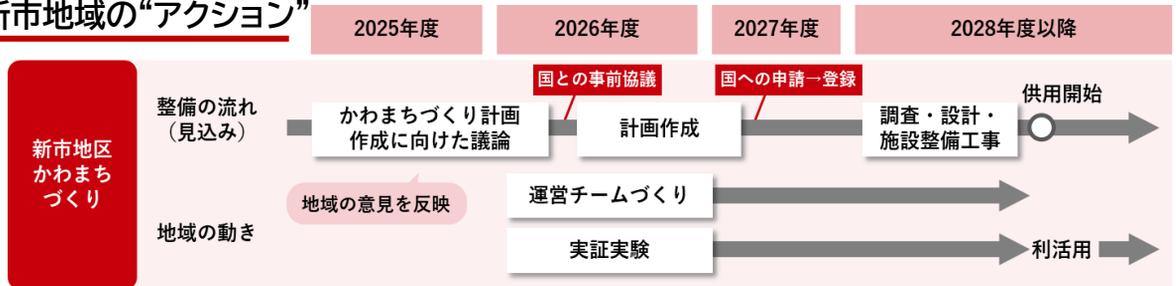
新市地域の“いま”

今、新市地域では、かわを起点としたにぎわいをまち全体へ広げるための取組が始まっています。

新市町と芦田町の人と産業をつなぎ、まち全体がよくなるきっかけとして“新市ならではの”かわまち広場づくりに取り組んでいます。



新市地域の“アクション”



PICK UP

まちにDive！まち歩きイベント

地域の歴史や魅力に詳しい「まちの知識人」の案内で、まちの強み・魅力を共有するイベントを実施。高校生・大学生などの若者、社会人、高齢者などの多様な世代でまちを歩き、魅力的な人・場所を再発見することができました。今後はこれらの地域資源を生かしてプロジェクトづくりを進めていく予定です。



人材発掘・育成

まち歩きイベントを始めとする実証実験などを通してプレイヤー同士の交流を促進する（マッチングの場をつくる）ことで、チームづくりを行います。その中で、かわまち広場整備後を見据えた事業スキームの構築をめざし、運営主体となれる人材やチームを育成していきます。



コンテンツづくり

地域資源と新たなプレイヤーによる多角的な視点を掛け合わせ、新市ならではの新しいコンテンツを創出していきます。

情報発信

意見交換会や実証実験の様子など、かわまちづくりに関わる多くの人がこの取組をタイムリーかつ積極的に発信していきます。地域の人々や企業に知ってもらい、自分ごと化してもらうことで、プレイヤーをどんどん増やしていきます。SNSやホームページ、回覧板など、様々な方法で情報発信しています。

follow me

新市地区かわまちづくり委員会
公式Instagram



@KAWAMACHI...FUKUYAMA

沼隈・内海地域 ～道の駅アリストぬまくまと海を生かした南部地域～

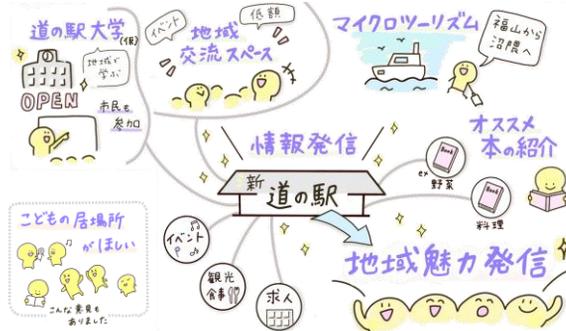
沼隈・内海地域の“いま”

道の駅アリストぬまくま再整備

開業から約30年、市内唯一の道の駅として、暮らしと産業を支えながら地域に親しまれてきた「道の駅アリストぬまくま」は、2029年度のリニューアルオープンをめざして検討を行っています。



道の駅アリストぬまくまの未来像



道の駅を中心に！ 地域全体を盛り上げる取組がスタート

地域の意見交換の場（ぬまトーク）でも、地域を盛り上げるために道の駅でできること・したいことについて、多くのアイデアが出され、取組が始まっています。

←ぬまトークで出されたアイデア例



地域で広がる海の取組

内海町は田島・横島の両島から成り、海とともに歩み、歴史を重ねてきました。基幹産業は水産業であり、内海で獲れる四季折々の瀬戸内ならではの魚介類は、地域の自慢・誇りとなっています。

豊かな海でまちを元気に

現在、瀬戸内海では栄養塩類の不足や海底環境の変化、気候変動による海水温の上昇など様々な変化が起きています。こうした中、2025年7月に「海洋環境の改善に関する官民共同会議」が立ち上がりました。様々なステークホルダーが役割分担しながら、豊かな海を育む環境を下支えしていきます。



せとうちエレジー～福山沼隈半島体験博～

新トンネルの開通により、沼隈半島内の移動が円滑になったことをきっかけに、南部地域全体の体験コンテンツを掘り起こし、観光資源の創出につなげるため、2026年2月1日から3月29日まで「せとうちエレジー～福山沼隈半島体験博～」を実施しました。引き続き、多様な関係者が連携し、南部地域の観光振興に取り組んでいきます。（2026年度も開催予定（年2回））

プログラムの一例

平家谷おばちゃんガイドと歩く、赤に染まる隠れ里



潮風に吹かれ、西のSHONAN（沼南※）で初めてのヨット旅



シーカヤックで食べに行く！海苔と牡蠣の田島、青空ランチ！



元イタリアンシェフ直伝の本気のナポリピザ作り体験



※沼南(しょうなん)…福山市の南に位置する沼隈半島南部を沼南(しょうなん)エリアという。

沼隈・内海地域 ～道の駅アリストめまくと海を生かした南部地域～

沼隈地域の“アクション”

沼隈地域の意見交換の場「ぬまトーク※」

まちの変化をきっかけに、未来の沼隈エリアのまちづくりを話し合う場として「ぬまトーク」を開催。まちに対する思い、まちのためにやりたいこと、困っていることについて意見交換やアイデア出しを行いました。

※「ぬまトーク」は、第1回の参加者から名称のアイデアを募集し、投票により決定しました。



3つの
キーワード

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度以降
地域交流	つながりづくり 交流イベント	順次実施		検証・改善・継続	
情報発信	地域情報の発信 観光情報の発信	順次実施		検証・改善・継続	
資源の 磨き上げ	人材育成 モノ(自然・歴史)	順次実施		検証・改善・継続	

Pick up

地域でつくる学びの場「道の駅大学（仮）」

地域交流の場として、地域の人がお互いに教え合い・学び合える機会をつくるため、第1弾としてのモーニングヨガを実施。地域の活動や魅力がもっと多くの人に伝わることで、沼隈のファンを増やしたいという思いで定期開催を検討されています。



内海地域の“アクション”

内海町まちづくりミーティング

「もっと地域でコミュニケーションをとったり、思いを共有する場がほしい」という地域住民からの声を受け、企画。「内海町ってこんなまち」「みんなのできること」を考え意見交換を行いました。



3つの
キーワード

オール内海	地域や世代を超えてつながり、内海を盛り上げる。
豊かな海	海の環境を守り、未来につなぐ。
魅力発信	魅力を発信し、内海町のファンを増やしていく。

内海の取組は、まだ始まったばかり。
これからも話し合いを重ね、アイデアを具体化していきます。

Pick up

まち歩きイベント

普段何気なく通っている道も、地域や世代を超えて会話しながら歩くことで、新たな視点が生まれ、今まで気づけなかった魅力を再発見。オール内海での活動の機運が高まりました。



駅家地域

～駅家公園から元気で暮らしやすい駅家エリアへ～

駅家地域の“いま”

これまで地域のこどもから高齢者まで、散歩コースや遊びの場として親しまれてきた駅家公園。もっと地域の「憩いの場」「交流の場」となるよう、「駅家公園活性化プロジェクト」が始動しました。このプロジェクトでは、駅家公園を活用して、地域によりにぎわいを創出するため、Park-PFI制度を含め、民間の柔軟な発想による運営方法についても検討する予定です。



「駅家公園活性化プロジェクト」

地域が主役となった
駅家地域の新たなにぎわいの創出に向けた取組



当面のプロジェクトの活動方針

- 交流** こどもから高齢者まで安心して集える「暮らしの交差点」にする。
- 防災** 防災機能や地域防災訓練の拠点として整備し、地域防災力の強化を図る。
- 経済** 地域経済の循環を生む仕組みの構築を検討する。
- 地域課題** 教育・福祉・観光・防災などの多様な地域課題に柔軟に対応可能な公園を創出する。

駅家地域の“アクション”



Pick UP

暮らしの中のイベントづくり

交流 **防災** **経済**

地域や商工会、大学生やPTAなど、地域内外の様々な主体が連携してにぎわいを生み出すイベントを実施し、一年を通じて断続的に人が集まり、交流できる機会をつくります。「小さなイベントでもいい」「やっていて楽しいこと・みんなが必要だと思っていること」を、役割分担しながら無理なく実施し、非日常を日常化していきます。

★イベントイメージ

- まんなん 万南ゆめフェスタ
- ふくきたフェスタ
- 防災体験イベント (New!)
- ビッグキャンプファイヤー (New!)

★展開

イベントの参加者や運営に関わる人を増やし、地域内外の人が関わる場にしてい

地元の特産品、文化、技術、人材などを生かしたカフェなど収益事業

経済

(Park-PFI制度導入検討)

Park-PFI制度により、地域人材が運営する地元特産品を活用したカフェなどの施設を設置し、駅家公園を魅力的な公園にするるとともに、地域経済の循環を生む仕組みの構築を目的に実施するものです。

★実証実験（現時点案）

主 体：駅家公園活性化協議会構成団体
店 舗：カフェ等（仮設店舗）
実施時期：2026年6月頃

中央公園での実証実験の様子→



お問合せ先

地域拠点形成推進課

☎ (084) 928-1303

各地域の地域振興課

神辺地域振興課

☎ (084) 962-5026

松永地域振興課

☎ (084) 934-5443

北部地域振興課

☎ (084) 976-9460

南部地域振興課

☎ (084) 980-7713

中部地域振興課

☎ (084) 932-7265

東部地域振興課

☎ (084) 940-2574

「地域の拠点づくり戦略」の本編や、地域の拠点づくりに関わる最新情報は福山市ホームページへ



福山市 地域の拠点づくり 検索

地域の拠点づくり戦略 ー概要版ー

～自分たちでつくる、まちの景色を変える 地域のアクション～

発行月 2026年(令和8年)3月

発行者 福山市企画財政局地域拠点形成推進部地域拠点形成推進課
〒720-8501 広島県福山市東桜町3番5号